



事務所：長野県伊那市西町 5016-2 電話 0265(76)5858 例会日：毎週火曜日 例会場：海老屋料理店 0265(72)2158
 会長：池上幸平 副会長：唐澤千明 幹事：熊谷 健 公共イメージ向上委員長：田中真人



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

2021-2022 国際ロータリーのテーマ

奉仕しよう みんなの
人生を豊かにするために

2021-2022 RI会長
シェカール・メータ
＜インド（西ベンガル州）＞



第1620回例会 令和4年5月17日(火)

■ 点 鐘 12:30

■ ソング 奉仕の理想 鈴木一比古ソングリーダー



■ ゲスト・ビジター紹介

- ・伊那西高等学校IAC顧問：飯田晋作 様
- ・伊那西高等学校IAC会長：宮澤乃菜 様
- ・伊那西高等学校IAC幹事：湯澤佑香梨 様

■ 会長談話 池上幸平会長



5月の連休明け、お田植が始まるこの時期に毎年感じるがあります。小黒川の川筋に会社がありますが、昼間の暖かい時間帯に雪が舞うように真白に辺り一面を白い綿状のピンポン玉より少し小さめの綿状のものが舞います。川柳の花なのかなと思いますが、雪花と表現した、、、新緑の深いこの時期に素晴らしい現象です。これを教えてくれたのは伊藤好さんであります。人に文字や文章で表現するのはとても難しいと思います。酒造会社で社内報の編集長をされていたので、表現が豊かなのだと思いました。夜の街で、夜の虫という歌を楽しそうに歌っている人とは到底結びつきません。能ある鷹は爪を隠すのか、人は見かけによらないのか・・・

本題に入ります。5月10日の火曜日、NHKのハートネットTVで全盲のよしのり先生の思い伝えたい最後の授業という番組を見ました。24歳で埼玉、群馬どちらかよく覚えておりませんが中学校の国語の先生で担任も持っていたようですが32、33歳で右目が見えなくなり、左目も視力が落ち失明されたようです。30年以上生きてきて見えていたものが見えなくなる、目の前が真暗になるということはとても不安で怖い事だと思います。本人も死んでしまいたいと家族に話したら、嫁さんや子供も一緒にとわれ、無責任だと言われ、思いとどまったと言っていました。何とか生き続ける方法を模索し、もがき苦しき今日にたどり着いたと言っていました。教師として教壇に立ちたい、夢を持ち続けて自分のできることをできる様に、人の力を借りて、助けてもらい、支えてもらい生きて来れました、と。

『雨ニモマケズ風ニモマケズ雪ニモ夏ノ暑サニモマケヌ丈夫ナカラダヲモチ欲ハナク決シテ奢ラズイツモシズカニ笑ツテイル（中略）ホメラレモセズクニモサレズサウイウモノニワタシハナリタイ』皆さんご承知の「宮沢賢治の雨ニモマケズ」であります。よしのり先生が授業を行うときは、まず教室に盲導犬と一緒にいき生徒に挨拶をして教壇に上がりチョークで授業の内容を書きます。この日は「宮沢賢治」と書きました。雨ニモマケズと生徒と一緒に読み始めました。当然サポートをしてくれるボランティアの方も一緒ですが、大変な労力と人に物を教える前の予習復習の準備はかなり時間をかけている場面が移りました。先生は目が見えないので点字のタイプライターのようなもので文章を何時間も読んで授業に望んでいました。生徒たちも自分の机の横に点字で自分の名前をテープで貼って、先生に分かるようにしていました。先生はテープレコーダーで一人一人の名前を声で覚えて、授業中は何回も教室を回り生徒のみんなの耳元で話をしていました。生徒も障害のある先生を受け入れて授

業の中で学び、けれども障害者との接し方ではなく普通に授業を受けていました。授業が終われば先生の手を引いて職員室に行く姿を見て、自然に受け入れられる素晴らしい行動がとれる生徒、学校でこんな姿が毎日行われていること。よしのり先生の授業が教えになっているのかと思いました。毎日の生活の中で「当たり前」に行動できる様な社会になればと感じました。自分ももっとと感受性を高め、人に優しくなりたと思いました。

■ 幹事報告 熊谷健幹事 幹事報告は別紙をご覧ください。

■ 委員会報告

・「ロータリーの友」5月号紹介 唐澤千明会員



5月は「青少年奉仕月間」で特集が組まれています。

「若年化する薬物パンデミック」として、コロナ禍の中、日本の若者の間で、薬物の乱用が広がっていることをご存じですか。殊に大麻事犯における20歳以下の若者の検挙数はここ数年、最多を更新しています。

2021年4月8日付の朝日新聞デジタル版に、「大麻事件の摘発、初の5千人超 高校・大学生は過去最多」という記事ができました。内容は「大麻を所持したり人に譲り渡したりしたとして警察に摘発された人が昨年（20年の1年間で）初めて5千人を超えた。全体の7割近くが20代以下で、高校生と大学生の摘発は過去最多、若者の乱用が目立っている」というものでした。

薬物は、人間や動物の体内に入って、何らかの影響や変化を及ぼす物質、薬物依存の対象となるものと見なされ、この依存対象となるものが覚醒剤や大麻、コカインなどと呼ばれるものです。薬物は脳に強く干渉する力を持っていることから、見る、感じる、動く、話す、聞く、考えるといった機能を全て壊してしまうともいわれています。

特に深刻なのが20歳未満の少年の増加であり、比率として2011年からの増加率は10倍以上、最新の統計として昨年1年間の検挙数994人と過去最多となり、うち高校生が186人、中学生も8人が検挙されました。

特に大麻は「有害性がない」「たばこや酒より安全といった誤った情報が拡散し、急速に乱用が進んでいます。たとえ興味本位でも、手を出してしまえば犯罪です。営利目的でなく所持しただけで、大麻であれば5年以下の懲役が科せられます。常習性のある薬物に少年たちが手を染める前に、私たちが正しい知識を彼らに伝える責務があると思っています。

「若者の薬物乱用に待った」をと、東京恵比寿RCは中学3年生を対象に、薬物が自身に及ぼす悪影響、人や家族を含めた社会に与える影響を、講義とワークショップ形式で伝えています。現在は、コロナ禍によって人と人とが直接触れ合う機会が失われ、若者の世界をさらに見えづらくしています。その隙をつくように、薬物の乱用が広がっています。その現実を知った今、私たちはただ見守るばかりでなく、行動を起こさねばなりません。私たちから若者に歩み寄らねばなりません。手をこまねいても事態は待ってくれません。東京恵比寿RCはこれからも「ダメ、ゼッタイ」を伝えていくために活動を続けます。ぜひ皆さんもこの問題を考え、一緒に行動して下さい。そうすることで、それぞれの地域社会の安心安全を培っていければと願っています。

もう一つ特集が組まれています。

「ウクライナ危機の中で深まる決意」過去と現在の紛争は、会員増強を遂げたウクライナのロータリーに大きな影響を及ぼしています。

農業大国であり、技術的・戦略的重要性を持つ国、ウクライナは、激動の歴史をたどってきました。2月に勃発したロシアとの戦争は、ヨーロッパ第二の面積を誇るウクライナでのロータリーの未来を世界中の会員が憂慮しています。

しかし、この混乱の中でも、ウクライナのロータリーの会員たちは、平和への揺るぎない決意を示し続けています。過去10年間のウクライナにおけるロータリーの歩みについて、現場の方々から報告がよせられています。

「平和のためのプロジェクト」ウクライナのロータリークラブは、紛争の犠牲者に医療や精神面での援助を提案し、多数の避難民を支援するとともに、全線地域に住む人々にも救援物資を届けました。RIは、ロシアとウクライナの両政府に平和的な対話を行うよう呼びかけています。

ロータリー平和フェローの井上悦子さんは、まずは一日も早く停戦が成立し、ウクライナに平和が戻ってくることを願わずにはいられません、今は現地から離れているため、できることは限られていますが、こうして私のウクライナでの経験を共有することで、ロータリアンの方々に少しでもウクライナを身近に感じてもらい、平和の大切さを再確認して、支援の輪が広がればと願っています。

「低年齢化する子どものメディア漬け～2歳児問題～」(医)増田クリニック院長の増田彰則氏が私の診療内科クリニックを受診する子どもたちの抱えている問題が、もはや家庭では手に負えず、どうかしてほしいと切実に訴える例が増えています。その問題について調べてみると、いき着いたのが、「2歳児問題」でした。

4～6歳の7～8割が、スマホやゲームをしていることが分かりました。さらに乳幼児では1歳児で2割、2歳児で5割がスマホをしていたのです。

スマホが2歳児に与える影響は、①アイコンタクトとスキンシップの減少、②睡眠が障害される、③イライラしやすくなる、④脳の発達の遅れ、⑤言語発達の遅れ、⑥社会性が育ちにくくなる、⑦注意力の低下、が挙げられます。

5歳までに脳の9割方が発育するといわれており、それまではメディアに触れさせないことが望まれます。

・ゴルフ部より連絡 加藤篤ゴルフ部会計



5月24日開催のゴルフ部第6回ゴルフコンペにつきましては、会場レストランが昼食時以外の利用ができませんので、表彰式を実施せず、次回例会時に賞品を成績表と共にお配りします。

また、例会にご出席できなかった会員様につきましては、後日配布しますのでご了承ください。

ご案内はこれからですが、今年度最終回となる第7回ゴルフコンペを矢島会員のご協力を得て、6月24日(金)に木曾駒高原カントリークラブで行います。今から都合をつけて頂き、ぜひとも多くの会員の皆様のご参加をお願いします。

■ クラブフォーラム 「青少年奉仕委員会」

・委員長あいさつ 井上修青少年奉仕委員長



青少年クラブフォーラムで伊那西高校のインターアクトクラブの活動紹介をさせていただきます。先の全国インターアクトクラブの大会でも見事なプレゼンをされました。宜しくお願い致します。

・伊那西高校インターアクトクラブ活動紹介 会長 宮澤乃菜さん 幹事 湯澤佑香梨さん



・こんにちは、伊那西高校インターアクトクラブ会長の宮澤乃菜、幹事の湯澤佑香梨です。よろしくお願ひします。これから、私たちインターアクトクラブの活動を紹介します。
・私たちインターアクトクラブは1年生1名、2年生3名、3年生4名、総勢8名で活動しています。

活動日は火曜と金曜、そして週末に行われる各種イベント等です。

- ・私たちの普段の活動の中心は手話歌です。自分たちで好きな曲を決めて、歌詞の単語を手話にして、曲に合わせて発表しています。コロナが流行する前は、練習した手話歌を施設での交流の時に見ていただいていたのですが、コロナがまん延した一昨年度からは、自分たちの学校での発表のみとなっています。手話歌は手話の手の動きなどを覚えるのにはとても良い方法です。ですが、実際の聾者の方々は音楽を聴くことができません。会話の中で使うことができる手話を覚えていくことも少しずつですが進めていき、今年度は手話検定の受験などを考えています。
- ・これは、伊那中央ロータリークラブ主催のますみヶ丘平地林整備事業に参加した時の様子です。私は2年連続で参加しました。私たちが植林をして、未来の森が豊かになるのは嬉しいですし、高校を卒業してこの町を出ることになっても、将来いつか戻ってきたときにあの小さな苗木が大きく成長した姿を見ることがとても楽しみです。
- ・毎年継続してきた信大留学生との交流会は、今年度も東海大諏訪高等学校と合同で行いました。他国との交流を通して日本とは異なる文化に触れることで異文化理解と興味を深め、行ったことも、見たこともない遠い国のことを身近に感じることができました。また、東海大諏訪のみなさんとも交流ができて、とても嬉しかったです。
- ・また、昨年は朗読の練習会も行いました。朗読は目が見えない人に向けて何かできないかと思い、始めたものです。声のトーンを変えたりして役を表現することの難しさを感じました。発表は行えませんが、また機会があれば施設などでの発表を行いたいと考えています。
- ・伊那西高校は手話歌を中心に活動していますが、曲に合わせて手話をするのと、手話で会話をするのには違いがあります。
昨年は聾者の森本さんという方にご来校いただき、耳が聞こえないことで何が大変なのかなどを具体的にお聞きしました。
少しでも聾者の方のことを知り、身近なこととして感じるようになりました。今年度は手話検定の級取得を目指して手話の学習を進めたり、手話歌のレパートリーを増やしたりして、もっと手話に親しんでいきたいと思っています。また、今年の2月に、校内で書き損じはがきの回収を行い、ユネスコ協会へ送らせていただきました。
- ・地域の清掃活動も行っています。昨年度は天竜川の清掃活動に参加しました。思いのほかゴミは少なかったのですが、まだゴミがあったので、ゼロになるよう活動していきたいです。
- ・コロナウィルスの収束もいまだ見通しが立たず、今年度も様々な制限の中で活動してきました。本来ならば耳の聞こえない方と一緒に一生懸命練習した手話を使い交流してみたいです。しかし難しい状況でもあります。だからこそ、仲間たちと知恵を出し合い、工夫をして、少しずつでもできる活動を精一杯やっとうと思っています。
ご清聴ありがとうございました。

手話ソングの発表



文化祭での発表の様子



ますみヶ丘平地林整備事業参加

～大人になった自分たちへ、未来の子供たちへ～



朗読の練習



聾者の方との交流会

■ ロータリー財団への特別寄付者へ認証品の授与

- ・ 過日行われた創立記念例会の際にお渡しできなかった三澤耕太会員に認証品が授与されました。



■ 委嘱状伝達式 「2022-2023年度地区委員委嘱状」

- ・ ロータリー財団資金管理会計小委員会 副委員長 太田明良会員
- ・ 公共イメージ向上委員会 委員 小椋文成会員
- ・ インターアクト小委員会 委員 井上修会員
- ・ ロータリー財団資金推進小委員会 委員 原一馬会員



■ 慶 祝

2～5月にリモート例会のため祝品をお渡しできなかった皆様の誕生日祝い



2月誕生日祝い



3月誕生日祝い



4月誕生日祝い



5月誕生日祝い

■ 全員協議会

5月31日（火）の例会実施方法について協議しました。

■ ニコニコボックス

- ◆池上幸平 沖縄県 日本復帰から50年。何も変わっていないのではと、島の人々は基地なき沖縄を願っているのでは。
伊那西IACの皆さん、今日はよろしくお願いします。
- ◆熊谷健 今日クラブフォーラム、伊那西高校インターアクトクラブの活動報告です。飯田先生・宮澤会長・湯澤幹事、よろしくお願い致します。
ここまでは普通のニコボックスですが、私の母校 伊那北高校の野球部が春の北信越予選 長野大会で本当に久し振りにベスト4進出を決めましたので、1,000円余分に寄付します。
- ◆小椋文成 伊那西高校IACの皆様、本日はクラブフォーラム よろしくお願いします。
- ◆井上修 伊那西高校インターアクトクラブ 青少年クラブフォーラム宜しくお願い致します。少々人数は少なくなりましたが、少数精鋭。先の全国大会でもクラブ活動を紹介され、立派なプレゼンをされた活発なクラブになっています。
- ◆鈴木一比古 伊那北高校が県大会ベスト4に進出しました。皆さん応援よろしくお願いします。21日準決勝は篠ノ井と戦います。飯田球場で。
- ◆唐澤千明 北信越大会県大会において、伊那北高校野球部がベスト4となりました。今から20年前になって以来で大金星です。2年生主体のチームで来年は更に楽しみです。
- ◆唐澤稔 皆様、久しぶりです。12年間お世話になりました。少し肩の荷がおりました。今後ともよろしくお願い致します。
- ◆宮原英幸 皆様には大変お世話になりありがとうございました。また議会に関わらせていただくことになりました。宜しくお願い致します。
- ◆原一馬 4月、激戦の伊那市議会議員選挙。おかげ様で当クラブ3人も当選する事ができました。今後とも気を引き締めて取組んでまいります。宜しくお願い致します。
- ◆伊藤かおり 久しぶりの集合例会となり皆さんの顔を拝見し、出席委員会としては喜ばしい例会と感じます。



■ 出席報告

会員数45名 出席免除会員5名 長欠会員1名 本日出席者28名（内Zoom1名）
事前メイク2名 出席率76.92% 前回出席率 修正なし



■ 現・次年度委員会引継ぎと次年度委員会計画

点鐘後、各委員会の現年度から次年度への引継ぎ等が行われました。

■ 点 鐘

13:30

次回例会
5月31日（火） 点鐘／18:30 場所／海老屋料理店